

令和7年度

教職員研修 開設講座一覧

三条市教育センター

悉皆研修

研修一覧内の「小学校・小学生」は「義務教育学校前期課程・前期学園生」、「中学校・中学生」は「義務教育学校後期課程・後期学園生」を表します。

	研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内 容
		教員としての素養	学習指導	生徒指導	特別支援教育・教育相談	ICT活用			
101	小中一貫教育基礎研修	○					【悉皆・対面】 市内転入・新採用教職員	4月11日(金)面識式で実施	三条市の小中一貫教育の導入経緯や具体的な取組、今年度の重点事項について学ぶ。
201	授業スタンダード理解研修		○				【悉皆・自校オンデマンド】 市外からの転入教職員	5月26日(月)までに 自校でオンデマンド研修	各自が、「三条市授業スタンダード」について、次の①～③の手順で学ぶ。 ①研修用資料を読み進める。②1時間の授業を構想し、研究主任等に見てもらう。③研修報告をGoogle Formsに入力して行う。※報告時に記載された質問事項については、教育センターから後日見解を示す。
202	算数・数学指導力向上研修①		○				【悉皆・対面】 小・中学校教職員、各学校1名	①7月29日(火) 小学校対象 ②8月1日(金) 中学校対象 10:00～11:40 教育センター	実践研究豊富な小中学校現職教員を講師に、「変化と関係」「関数」領域について、算数・数学の授業づくりの具体的なアイデアを学ぶ。
203	算数・数学指導力向上研修②		○				【悉皆・指定学園の学校】 指定学園教職員 算数・数学担当教職員	5月～11月 指定学園で決定	指定学園において、教育センター指導主事が授業構想、指導案作成から支援し、授業実践・協議を通して、授業づくりの理論、指導技術を学ぶ。指定学園は次の①～③の研修を行う。 ①授業構想検討 ②指導案検討 ③授業公開・協議会
204	外国語指導力向上研修①(小中) (基礎研修)		○				【悉皆・対面】 小・中学校教職員 各学校1名以上	5月30日(金) 14:30～16:30 教育センター	市内小学校英語専科教員3名を講師に、小中連携について具体的な実践をもとに学ぶ。また、学園内での情報交換を通して、連携の具体を考える。
205	外国語指導力向上研修①(小) (基礎研修)		○				【悉皆・オンライン】 小学校教職員、各学校1名以上 【希望】中学校教職員	6月3日(火) 14:30～16:30 オンライン	昨年度に引き続き、教科書Blue Sky編者、岐阜大学准教授 瀧沢広人様を講師に、児童をやる気にさせる活動実践や中学校を見据えた授業づくりについて学ぶ。特に、日頃の言語活動、パフォーマンステストや読み書き指導について理解を深める。
206	外国語指導力向上研修①(中) (基礎研修)		○				【悉皆・オンライン】 中学校教職員、各学校1名以上 【希望】小学校教職員	6月25日(水) 14:30～16:30 オンライン	横浜創英中学高等副校長 山本崇雄様を講師に、自律型学習者を育てる授業づくりについて具体的な実践を通して学ぶ。
207	外国語指導力向上研修② (授業実践研修)		○				【悉皆・指定学園の学校】 指定学園教職員(R7:三条嵐南学園・一ノ木戸ボブラ学園)	5月～11月 2回 指定学園の学校(後日連絡)	児童・生徒の外国語活動・英語授業への関心や意欲を高め、学力向上を図ることを目指す。学園での授業の構想づくり・実践・協議を通して、英語・外国語の授業力を磨く。授業公開校は学園で決定し、公開する。
208	教科指導研修(国語①)		○				【悉皆・対面】 国語科担当教職員・研究主任 小学校1名以上	8月4日(月)14:30～16:30 教育センター	新潟大学附属長岡小学校現職教員を講師に、「書くこと」の指導について、実践例をもとに指導法を学ぶとともに、参加者の実践等について情報を交換する。
209	教科指導研修(国語②)		○				【悉皆・対面】 国語科担当教職員・研究主任 中学校1名以上	8月6日(水)14:30～16:30 教育センター	新潟大学附属長岡中学校現職教員を講師に、「書くこと」の指導について、実践例をもとに指導法を学ぶとともに、参加者の実践等について情報を交換する。
212	標準学力検査(NRT)分析研修		○				【悉皆・自校】 小・中学校教職員(研究主任を中心に)	通知の日(7月校長会議後)～9月1日(月) 自校・自学園での研修	各学校は、本年度実施のNRTについて、①自校の結果(偏差値、アンダー・アチーバーの割合等)を分析する。②自校の結果・課題・改善策を教職員間で情報共有する。③学園内で、重点的な取組等について検討及び情報共有を行なう。④各学校の分析結果を市教委へ提出する。(研修履歴に残す場合は、Plantにて申込む)
213	全国学力・学習状況調査分析研修		○				【悉皆・自校】 小・中学校教職員(研究主任、教科主任等を中心に)	通知の日(8月校長会議後)～11月14日(金) 自校での研修	各学校は、本年度実施の全国学力・学習状況調査について、①自校の結果を分析する。②①の結果及び国立教育政策研究所からの「学習指導の改善・充実に向けた説明会資料・説明動画」を使って校内で研修する。③校内研修の報告をGoogle Formsに入力して行う。(研修履歴に残す場合は、Plantにて申込む)
214	学力向上研修		○				【悉皆・オンライン】 小・中学校教職員、各学校1名以上	7月1日(火) 14:30～16:30 オンライン	東京大学准教授 一柳智紀准様を講師に、「『主体的・対話的で深い学びの授業』づくりのために、教師に求められる指導性とは(仮)」について、授業に臨む教師の構えや日常の指導のポイントなどについて学ぶ。

悉皆研修

研修一覧内の「小学校・小学生」は「義務教育学校前期課程・前期学園生」、「中学校・中学生」は「義務教育学校後期課程・後期学園生」を表します。

	研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内 容
		教員としての素養	学習指導	生徒指導	特別支援教育・教育相談	ICT活用			
401	いじめ不登校対応研修①・教育支援センター事業説明会	○		○	○		【悉皆・対面】 生徒指導・不登校支援担当者や研修内容に興味のある小・中学校教職員 各学校1名以上	5月7日(水) 14:00～16:30 教育センター	中越教育事務所 生徒指導担当指導主事を講師に、いじめ・不登校等生徒指導事案の理解と学校組織な初期対応について学ぶ。(テーマ「いじめ・不登校等の事案発生時の学校組織対応の在り方(仮)」) 教育支援センター事業説明(25分程度)
402	いじめ不登校対応研修②	○		○			【悉皆・対面】 生徒指導・不登校支援担当者や研修内容に興味のある小・中学校教職員 各学校1名以上	7月2日(水) 14:30～16:30 教育センター	中越教育事務所 生徒指導担当指導主事を講師に、いじめ・不登校等生徒指導事案の理解と学校組織対応について学ぶ。
403	不登校児童生徒への対応力向上研修			○	○		【悉皆・対面】 不登校支援担当者や研修内容に興味のある小・中学校教職員 各校1名以上の参加	8月7日(木) 14:00～16:30 教育センター	国立病院機構 新潟病院 子どもの心のケア研究室長 医学博士 西牧謙吾様を講師に、医療現場の視点から不登校の現状を捉え、不登校の予防、初期対応、学校が対応する上で、保護者対応、関係機関との連携のあり方等を学ぶ。
405	WEBQU研修①	○		○	○		【悉皆・オンライン】 可能な限り全教員	4月2日(水) 15:00～16:00 オンライン	元早稲田大学客員教授 伊佐真一様を講師に、4月からの学級づくりについて学ぶ。目指す学級の姿を明確にし、意図的・計画的な学級づくりの方法について学び、親和型学級を目指す。
406	WEBQU研修②	○		○	○		【悉皆・対面】 小・中学校教職員、各学校1名	6月20日(金) 15:00～16:30 教育センター	元早稲田大学客員教授 伊佐真一様を講師に、第1回WEBQUの結果データを活用した学級づくりについて学ぶ。1学期末や2学期始めの迎え方や自治的学級集団へのステップアップを目指す。
501	ICT教育研修①		○			○	【悉皆・対面】 研究主任1名、ICT担当者1名	7月28日(月) <u>13:00～14:30</u> 教育センター	講師による授業実践例を基に、問題解決場面における対話の充実に向け、オクリンクプラス等のICTの効果的な活用について学ぶ。
601	小中一貫教育校長研修	○					【悉皆・対面】各学園長 【悉皆・オンライン】 学園長以外の学校長、小中一貫教育推進リーダー	4月18日(金) 9:00～10:00 教育センター(学園長) オンライン(学園長以外)	今年度の小中一貫教育推進の重点について、共通理解し、自学園での取組について学園ごとにその具体を考える。
602	小中一貫教育マネジメント研修	○					【悉皆・対面】 小中一貫教育推進リーダー、推進コーディネーター管理職のいずれか各校1名	5月16日(金) 15:00～16:30 教育センター	今年度の小中一貫教育推進の重点について、共通理解するとともに、各学園・学校の取組を情報交換し、自学園・自校の取組に生かす。また、必要な事務処理事項について確認する。
701	CSディレクター等研修①	○					【悉皆・対面】 小中一貫教育推進リーダー、コーディネーター、管理職のいずれか各校1名 学園・学校運営協議会委員	6月19日(木) 15:00～16:30 教育センター	今年度の市のコミュニティ・スクール推進の方向性を共有する。また、各学園・学校の今年度の取組について情報交換し、自学園・学校の取組に生かす。
702	CSディレクター等研修②	○					【悉皆・対面】 小中一貫教育推進リーダー、コーディネーター、管理職のいずれか各校1名 学園・学校運営協議会委員	2月20日(金) 15:00～16:30 教育センター	今年度の市のコミュニティ・スクール推進の方向性を視点に、今年度の各学園・学校の取組の成果と課題について情報交換し、次年度の取組に生かす。
703	コミュニティ・スクール研修	○					【悉皆・対面】 各学校長	7月11日(金) 14:30～16:30 教育センター	元文部科学省CSマイスター 大山賢一様を講師に、コミュニティ・スクールの更なる推進について学ぶ。また、各学園・学校の課題についてアドバイスをもらう。
801	授業力向上実践研修Step1		○		○		【悉皆】教諭(採用2年目) 【希望1】教諭(採用4年目・管理職の研修奨励) 【希望2】教諭(採用3、5、6年目)	7月17日(木) 15:00～16:30 ・学習会3回(オンライン又は対面) ・訪問参観・個別指導2回以上(校内研究授業を兼ねることも可)	「三条市授業スタンダード」をはじめとした授業づくりや学級づくりの基礎について学ぶ。指導案なしでの日常の授業公開から始め、担当指導主事が1年間マンツーマンで指導・支援にあたる。日頃の悩みや相談にも丁寧に対応する寄り添い型の研修で若手教員の育成を図る。 学習会①(オンライン:5/29(木))、訪問指導①(5～7月:複数回)、学習会②(オンライン:8/22(金))、訪問指導②(9～11月:複数回)、学習会③(オンライン:11/25(火)～12/3(水)のうち1日)

※悉皆研修については、次ページからの一覧でも再掲しています。

I 小中一貫教育研修

1 基礎研修【転入・新任者のための小中一貫教育の理解を深める研修】

	研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内 容
		教員としての 素養	学習指導	生徒指導	特別支援教育・ 育相関	IOT活用			
101	小中一貫教育基礎研修	○					【悉皆・対面】 市内転入・新採用教職員	4月11日(金)面談式で実施	三条市の小中一貫教育の導入経緯や具体的な取組、今年度の重点事項について学ぶ。

2 実践研修

(1) 小中一貫教育を通して学力の向上を目指す研修

	研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内 容
		教員としての 素養	学習指導	生徒指導	特別支援教育・ 育相関	IOT活用			
201	授業スタンダード理解研修		○				【悉皆・自校オンデマンド】 市外からの転入教職員	5月26日(月)までに 自校でオンデマンド研修	各自が、「三条市授業スタンダード」について、次の①～③の手順で学ぶ。 ①研修用資料を読み進める。②1時間の授業を構想し、研究主任等に見てもらう。③研修報告をGoogle Formsに入力して行う。※報告時に記載された質問事項については、教育センターから後日見解を示す。
202	算数・数学指導力向上研修①		○				【悉皆・対面】 小・中学校教職員、各学校1名	①7月29日(火) 小学校対象 ②8月1日(金) 中学校対象 10:00～11:40 教育センター	実践研究豊富な小中学校現職教員を講師に、「変化と関係」「関数」領域について、算数・数学の授業づくりの具体的なアイデアを学ぶ。
203	算数・数学指導力向上研修②		○				【悉皆・指定学園の学校】 指定学園教職員 算数・数学担当教職員	5月～11月 指定学園で決定	指定学園において、教育センター指導主事が授業構想、指導案作成から支援し、授業実践・協議を通して、授業づくりの理論、指導技術を学ぶ。指定学園は次の①～③の研修を行う。 ①授業構想検討 ②指導案検討 ③授業公開・協議会
204	外国語指導力向上研修①(小中) (基礎研修)		○				【悉皆・対面】 小・中学校教職員 各学校1名以上	5月30日(金) 14:30～16:30 教育センター	市内小学校英語専科教員3名を講師に、小中連携について具体的な実践をもとに学ぶ。また、学園内での情報交換を通して、連携の具体を考える。
205	外国語指導力向上研修①(小) (基礎研修)		○				【悉皆・オンライン】 小学校教職員、各学校1名以上 【希望】中学校教職員	6月3日(火) 14:30～16:30 オンライン	昨年度に引き続き、教科書Blue Sky編者、岐阜大学 准教授 瀧沢広人様を講師に、児童をやる気にさせる活動実践や中学校を見据えた授業づくりについて学ぶ。特に、日頃の言語活動、パフォーマンステストや読み書き指導について理解を深める。
206	外国語指導力向上研修①(中) (基礎研修)		○				【悉皆・オンライン】 中学校教職員、各学校1名以上 【希望】小学校教職員	6月25日(水) 14:30～16:30 オンライン	横浜創英中学高等副校長 山本崇雄様を講師に、自律型学習者を育てる授業づくりについて具体的な実践を通して学ぶ。
207	外国語指導力向上研修② (授業実践研修)		○				【悉皆・指定学園の学校】 指定学園教職員(R7:三条嵐南 学園・一ノ木戸ボブラ学園)	5月～11月 2回 指定学園の学校(後日連絡)	児童・生徒の外国語活動・英語授業への関心や意欲を高め、学力向上を図ることを目指す。学園での授業の構想づくり・実践・協議を通して、英語・外国語の授業力を磨く。授業公開校は学園で決定し、公開する。
208	教科指導研修(国語①)		○				【悉皆・対面】 国語科担当教職員・研究主任 小学校1名以上	8月4日(月)14:30～16:30 教育センター	新潟大学附属長岡小学校現職教員を講師に、「書くこと」の指導について、実践例をもとに指導法を学ぶとともに、参加者の実践等について情報を交換する。
209	教科指導研修(国語②)		○				【悉皆・対面】 国語科担当教職員・研究主任 中学校1名以上	8月6日(水)14:30～16:30 教育センター	新潟大学附属長岡中学校現職教員を講師に、「書くこと」の指導について、実践例をもとに指導法を学ぶとともに、参加者の実践等について情報を交換する。
210	教科指導研修(社会)		○				小・中学校教職員 小学校高学年担任や社会科担当教員、 歴史に興味のある教員の参加も推奨	8月18日(月)9:30～11:30 教育センター	新潟大学附属長岡中学校現職教員を講師に、主に「歴史的分野」の指導について、実践例をもとに指導法を学ぶ。参加者によるグループワークを行い、情報交換等も行う。
211	標準学力検査(NRT)分析方法理解研修		○				小・中学校教職員	6月27日(金)14:30～16:30 教育センター	一般財団法人応用教育研究所研究科長を講師として、標準学力検査(NRT)の基本事項、結果の読み取り、分析方法について学び、学力向上につなげる。今年度は対面研修のため、自校の結果を基に、より実践的に学ぶことができる。

2 実践研修

(1) 小中一貫教育を通して学力の向上を目指す研修

	研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内 容
		教員としての 素養	学習指導	生徒指導	特別支援教育・ 育相談	ICT活用			
212	標準学力検査(NRT)分析研修		○				【悉皆・自校】 小・中学校教職員(研究主任を中心に)	通知の日(7月校長会議後)～9月1日(月) 自校・自学園での研修	各学校は、①自校の結果(偏差値、アンダー・アチーバーの割合等)を分析する。②自校の結果・課題・改善策を教職員間で情報共有する。③学園内で、重点的な取組等について検討及び情報共有を行なう。④各学校の分析結果を市教委へ提出する。(研修履歴に残す場合は、Plantにて申込む)
213	全国学力・学習状況調査分析研修		○				【悉皆・自校】 小・中学校教職員(研究主任、教科主任等を中心に)	通知の日(8月校長会議後)～11月14日(金) 自校での研修	各学校は、①自校の結果を分析する。②①の結果及び国立教育政策研究所からの「学習指導の改善・充実に向けた説明会資料・説明動画」を使って校内で研修する。③校内研修の報告をGoogle Formsに入力して行う。(研修履歴に残す場合は、Plantにて申込む)
214	学力向上研修		○				【悉皆・オンライン】 小・中学校教職員、各学校1名以上	7月1日(火) 14:30～16:30 オンライン	東京大学准教授 一柳智紀様を講師に、「『主体的・対話的で深い学びの授業』づくりのために、教師に求められる指導性とは(仮)」について、授業に臨む教師の構えや日常の指導のポイントなどについて学ぶ。

(2) 科学教育センター主催研修

	研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内 容
		教員としての 素養	学習指導	生徒指導	特別支援教育・ 育相談	ICT活用			
301	生活科 小1「なぜとあそぼう」 小2「うごくおもちゃを作ろう」		○				小・中学校教職員	12月3日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	教室や校庭で思いっきりおもちゃを作って遊びながら気づき、願いをもって活動に取り組むことができる実践と指導法を学ぶ。「身近にある材料」や「風」の良さを十分に活かすおもちゃ作りの実習を行う。
302	小3 「ものの重さを調べよう」		○				小・中学校教職員	2月4日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	「形と重さの関係」と「形と種類の関係」の2つの問題を見いだす事象提示や、手ごたえなどの体感を基に、てんびんや上皿はかりを用いて重さを数値化するなど、定性から定量へとより科学的に追究することができる指導法の実習を行う。
303	小4 「夏の星／月や星の動き」		○				小・中学校教職員	7月2日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	月の位置・形の変化や星座の並び方について、時間と空間を関連付けて考えさせるとともに、確かな理解につなげるための星空観察に関する技能習熟のための手立てと、その結果を共有するための支援の方法について実習を行う。
304	小5 「電流と電磁石」		○				小・中学校教職員	11月5日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	電磁石の基本的な作り方や実験方法、仕組みを学ぶとともに、電流の大きさやコイルの巻き数を変えることで電磁石の力が変化することを、子どもたちが主体的に、条件を制御しながら、解決の方法を発想して解決していくための手立てと環境設定について実習を行う。
305	小6 「電気と私たちの生活」(含:プログラミング教材の活用)		○			○	小・中学校教職員	1月15日(木) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	電気を「つくる」「ためる」ことに着目させ、手回し発電機や光電池で電気をつくり、ためる実験の基礎を学ぶとともに、量的・関係的な見方を十分に働かせながら、探究的にエネルギー変換について理解を深める指導法の実習を行う。また、当単元で効果的に実施できるプログラミング教育のコンテンツと、プログラミング教材の活用方法を学ぶ。
306	中1 「身のまわりの現象～力のはたらき～」		○				小・中学校教職員	10月22日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	目に見えない「力」の概念を習得するために、力のイメージ化・可視化をねらった事象提示の工夫、力とばねの伸びの関係について、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した実験方法と教材、2力のつり合う3条件を見出しやすくする実験器具の工夫について実習を行う。
307	中2 「植物のつくりとはたらき／動物のつくりとはたらき」		○			○	小・中学校教職員	7月9日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	「植物のつくりとはたらき」については、植物が水を運ぶつくり、養分をつくるために必要な条件、デンプンができる場所、観察実験の基礎を学ぶとともに、探究的に問題解決する指導法の実習を行う。「動物のつくりとはたらき」については、実体験を伴う活動的な学びに重点を置いた指導法や人体の内部のつくりやつながりを意識させるためのICT活用の実習を行う。
308	中3 「太陽系と宇宙の広がり／太陽や星の見かけの動き」		○			○	小・中学校教職員	11月26日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	実際の観測と、具体物やモデル等の教材、ワークシート等を関連付けながら、平面図と立体空間を相互に変換して思考し、視点移動や抽象的思考を促す効果的な指導法の実習を行う。
309	【野外研修会】 「地層の観察(秋葉区石油の里)」		○				小・中学校教職員	8月5日(火) 9:00～11:30 秋葉区石油の里 (まちやまバス発着)	秋葉区の石油の里にて、露頭を観察する。見学における留意点の確認や地層のスケッチ、鉱物の採集を行う。石油の世界館にて、石油の成り立ちや地層観察に関わる映像の上映会も行う。

(2) 科学教育センター主催研修

	研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内 容
		教員としての 素養	学習指導	生徒指導	特別支援教育・ 育相談	ICT活用			
310	【野外研修会】 「川の観察(五十嵐川)」		○				小・中学校教職員	8月25日(月) 14:00～16:40 三条市内五十嵐川観察スポット (まちやまバス発着)	五十嵐川の見学コースやポイントを確認し、現地で行える事象提示や観察・実験を行う。バス内で取り入れることができる実験も紹介する。また、探究的な検証計画立案が可能な侵食・運搬・堆積の実験の装置の工夫や指導法の実習を行う。
311	【野外研修会】 「天体観測(月や星の学習)」		○				小・中学校教職員	9月3日(水) 16:30～20:00 ※予備日4日(木) しらすぎ荘	科学教育センター所有の望遠鏡やしらすぎ荘の150mm天体望遠鏡を使い、夏から秋にかけての星座観察や惑星の観察を行う。また、実際に見える星空と小中学校で扱う単元内容を関連させた、効果的な指導法の実習を行う。
312	【野外研修会】 「秋の大崎山(生活科・総合)」		○				小・中学校教職員	10月15日(水) 15:00～16:40 大崎山公園 三条市グリーンスポーツセンター	三条市グリーンスポーツセンター長を講師に、大崎山をフィールドとして活動できる木の実や落ち葉を使った遊び、ネイチャーゲーム等を体験的に学ぶ。授業に活用できる木の実や落ち葉の採集も行う。
313	【基礎技能・ワンポイント研修会】 「三条科センプラネタリウム～鑑賞と番組づくり～ / 望遠鏡の使い方」		○			○	小・中学校教職員	8月19日(火) 15:30～16:40 まちやま サイエンスホール	夏の夜空に思いを馳せる。科セン所有の移動式プラネタリウムを用いた小4・小6・中3の学習内容や夏の星座についての上映を鑑賞する。また、プラネタリウムの番組の作り方を体験的に学ぶ。科セン所有の望遠鏡や各校備品の望遠鏡の使用法を確認し、実際に活用できる技能を身に付ける。
314	【基礎技能・ワンポイント研修会】 小3 「チョウを育てよう」 小4 「雨水の流れ」		○				小・中学校教職員	6月4日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	「チョウを育てよう」については、バケツを使ったキャベツ苗の活用法や卵の発見から成虫になるまでの育て方・観察方法、アゲハチョウとの比較のポイントを実習する。 「雨水の流れ」については、「雨天時の校庭の観察」「水の流れ方を調べる実験」「水のしみ込み方を調べる実験」の3つについて、実証性・再現性の高い観察実験を実習する。
315	【基礎技能・ワンポイント研修会】 小3 「風のはたらき」 小4 「自然の中の水」		○				小・中学校教職員	8月22日(金) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	「風のはたらき」については、簡単に作ることができ、主体性を育みながら実感をついた理解を促すとともに、条件を整えて実験することができる教材の作成と活用法について実習する。 「自然の中の水」については、目に見えない存在である水蒸気を意識させるために、身近なものを使ったモデルでの問題解決学習や、水蒸気を目に見える現象に置き換えて捉えさせる実験について実習する。
316	【基礎技能・ワンポイント研修会】 小5 「種子の発芽と成長／魚のたんじょう」 小6 「人や動物の体／植物の養分と水」		○				小・中学校教職員	5月21日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	＜小5 種子の発芽と成長／魚のたんじょう＞ 種子や子葉にでんぶんがよく含まれていることが分かる再現性の高い実験方法を紹介する。メダカの飼育法や卵の観察のポイントを実習する。 ＜小6 人や動物の体／植物の養分と水＞ でんぶんがだ液によって変化する実験、ジャガイモの葉にでんぶんが含まれているか調べる実験について、安心安全で再現性の高い実験方法を学ぶ。
317	【基礎技能・ワンポイント研修会】 小5 「雲と天気の変化」 小6 「月の形と太陽」		○				小・中学校教職員	9月10日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	＜小5 雲と天気の変化＞ 実際の雲の観察のポイントや効果的なワークシートを紹介する。また、身近な観測データや複数の情報を利用し、天気の変化を主体的・対話的に予測していく指導法のポイント学ぶ。 ＜小6 月の形と太陽＞ 月はどうのように動き、満ち欠けしていくのかについて、様々な材料から選んで月の位置関係や見え方を再現し、対話と自己調整を繰り返しながら解決していく指導法と教材を紹介する。
318	【基礎技能・ワンポイント研修会】 中1 「植物の分類」 中2 「化学変化と物質の質量」		○				小・中学校教職員	5月8日(木) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	＜中1 植物の分類＞ 植物の特徴に気付かせ、分類の視点を与える「リーフシルエット」等の工夫や、植物の共通点や相違点を明確に見いだしていく、段階的な分類の手立てを活かした指導法を学ぶ。 ＜中2 化学変化と物質の質量＞ 化学反応式の効果的な指導法や、代表的な化学変化実験(沈殿、気体発生、金属の酸化)について、実証性・再現性の高い方法を実習で学ぶ。
319	【基礎技能・ワンポイント研修会】 中3 「生物の成長・生殖」		○				小・中学校教職員	6月25日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	植物のスペシャリスト、上越教育大学教授 五百川裕様を講師に、実証性・再現性の高い細胞分裂、花粉管の観察・実験の実習を行う。
320	【基礎技能・ワンポイント研修会】 中1 「地層／地震」 中3 「天体の満ち欠け」		○			○	小・中学校教職員	1月28日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	＜中1 地層／地震＞ 地層の広がりや重なりを空間的な視点で捉えるための手立てや、地層の広がりや重なりを観察結果や資料を基に規則性や関係性を見いだす指導法のポイントを紹介する。地震の仕組みを定性的・定量的に実感していくことのできる教材やその活用法を実習する。 ＜中3 天体の満ち欠け＞ 月、金星、火星の見え方の変化について、探究的に問題解決に取り組みながら理解を促すモデルやワークシート等の教材を紹介するとともに、ICTの効果的な活用事例を学ぶ。
321	【基礎技能・ワンポイント研修会】 中2 「電流の正体」 中3 「電池とイオン」		○			○	小・中学校教職員	11月19日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	＜中2 電流の正体＞ 電流と電子の関係や放射線について、実証性・再現性の高い観察実験を取り入れながら理解を促す指導法を提案する。 ＜中3 電池とイオン＞ 金属の種類によるイオンへのなりやすさを探究的に問題解決していく過程や、化学電池(特にダニエル電池)について、実際の現象とモデルとを結びつけた原理の説明まで導く指導法を実習する。
322	【基礎技能・ワンポイント研修会】 「理科の授業づくり・環境づくり」		○			○	小・中学校教職員	4月16日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	理科授業の構成や単元の作り方、ノート指導、理科室の使い方と基本的な実験器具の操作等について実習する。子どもたちが理科への関心と期待感を高めることができる面白現象や導入について学ぶ。
323	【基礎技能・ワンポイント研修会】 「畑づくり ～苗を植えよう～」		○				小・中学校教職員	4月23日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	学校教材園の畑づくり、うねづくり、種類ごとの種や苗の植え方やその後の管理のポイントなど、1年間を見通した畑の運営方法の基本を体験的に学ぶ。
324	【基礎技能・ワンポイント研修会】 「科学研究～テーマ決め・進め方～」		○				小・中学校教職員	6月11日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	科学研究のテーマ決定や研究方法、まとめ方、発表方法まで、各学年の発達段階に応じた進め方を学ぶ。また、どの学年でも短時間で行うことができ、条件制御しながら実験を行うことができる科学研究体験を実習する。

(2) 科学教育センター主催研修

	研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内 容
		教員としての 素養	学習指導	生徒指導	特別支援教育・ 育相談	ICT活用			
325	【基礎技能・ワンポイント研修会】 「授業でのICT活用 / プログラミング機器体験」		○			○	小・中学校教職員	8月1日(金) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	Googleの各種機能やオクリンク等、ICT活用による主体的で対話的な学習を実現に向けた実践事例を紹介する。また、秋以降に貸出頻度の上がる科セン所有のプログラミング教材を実際に体験し、活用の具体を学ぶ。
326	【基礎技能・ワンポイント研修会】 「放射線教育」		○			○	小・中学校教職員	2月12日(木) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	理科の単元内容と関連させ、各学年の発達段階に応じた放射線教育の実践を学ぶ。また、霧箱や放射線チェッカー等の教材を活用した探究的な観察・実験の実習を行い、活用法について理解を深める。

(3) 小中一貫教育を通して豊かな人間関係を目指す研修

	研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内 容
		教員としての 素養	学習指導	生徒指導	特別支援教育・ 育相談	ICT活用			
401	いじめ不登校対応研修①・ 教育支援センター事業説明会	○		○	○		【悉皆・対面】 生徒指導・不登校支援担当者や 研修内容に興味のある小・中学校 教職員 各学校1名以上	5月7日(水) 14:00～16:30 教育センター	いじめ・不登校等生徒指導事案の理解と学校組織な初期対応について学ぶ。 (講師:中越教育事務所 生徒指導担当指導主事) 「いじめ・不登校等の事案発生時の学校組織対応の在り方(仮)」 教育支援センター事業説明(25分程度)
402	いじめ不登校対応研修②	○		○			【悉皆・対面】 生徒指導・不登校支援担当者や 研修内容に興味のある小・中学校 教職員 各学校1名以上	7月2日(水) 14:30～16:30 教育センター	いじめ・不登校等生徒指導事案の理解と学校組織対応について学ぶ。 (講師:中越教育事務所 生徒指導担当指導主事)
403	不登校児童生徒への対応力向上 研修			○	○		【悉皆・対面】 不登校支援担当者や研修内容 に興味のある小・中学校教職員 各校1名以上の参加	8月7日(木) 14:00～16:30 教育センター	医療現場の視点から不登校の現状を捉え、不登校の予防、初期対応、学校が対応する上で、保護者対応、 関係機関との連携のあり方等を学ぶ。 (講師:国立病院機構 新潟病院 子どもの心のケア研究室長 医学博士 西牧 謙吾 様)
404	道徳科授業研修	○	○				小・中学校教職員	6月24日(火) 15:00～16:30 教育センター	道徳科の教科教育専門監を講師に、道徳科授業のあり方について学ぶ。
405	WEBQU研修①	○		○	○		【悉皆・オンライン】 可能な限り全教員	4月2日(水) 15:00～16:00 オンライン	元早稲田大学客員教授伊佐貢一様を講師に、4月からの学級づくりについて学ぶ。目指す学級の姿を明確にし、意図的・計画的な学級づくりの方法について学び、親和型学級を目指す。
406	WEBQU研修②	○		○	○		【悉皆・対面】 小・中学校教職員、各学校1名	6月20日(金) 15:00～16:30 教育センター	元早稲田大学客員教授伊佐貢一様を講師に、第1回WEBQUの結果データを活用した学級づくりについて学ぶ。1学期末や2学期始めの迎え方や自治的学級集団へのステップアップを目指す。
407	学級づくり研修①	○		○	○		小・中学校教職員	4月28日(月) 14:30～16:30 教育センター	新潟大学附属長岡小学校畠山明大教頭を講師に、「関係づくり」- 心をつかむ学級設計『教室に笑顔が集うはじめての一步』をテーマに演習を行いながら学ぶ。
408	学級づくり研修②	○		○	○		小・中学校教職員	8月21日(木) 14:30～16:30 教育センター	新潟大学附属長岡小学校畠山明大教頭を講師に、「空間づくり」- 安心が広がる教室環境『子どもがホッとできる教室』をテーマに演習を行いながら学ぶ。
409	学級づくり研修③	○		○	○		小・中学校教職員	10月31日(金) 14:30～16:30 教育センター	新潟大学附属長岡小学校畠山明大教頭を講師に、「未来づくり」- 明日を拓く無限の可能性『学びと成長の物語』をテーマに演習を行いながら学ぶ。

(4) 小中一貫教育の視点を生かした各種教育研修

研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内 容
	教員としての素養	学習指導	生徒指導	特別支援教育・教育相談	ICT活用			
501 ICT教育研修①		○			○	【悉皆・対面】 研究主任1名、ICT担当者1名	7月28日(月) 13:00～14:30 教育センター	講師による授業実践例を基に、問題解決場面における対話の充実に向け、オクリンクプラス等のICTの効果的な活用について学ぶ。
502 ICT教育研修②		○			○	小・中学校教職員 (ICT担当に限らない) 501研修参加者の継続参加も可	7月28日(月) 15:00～16:30 教育センター	講師からプログラミング教育が求められる背景と基本的な内容について体験を通して学ぶ。 ※体験内容は小学校プログラミング教育の予定
503 ICT教育研修③		○			○	小・中学校教職員、各学校1名	11月5日(水) 15:00～16:30 教育センター	オクリンクプラス等の活用による授業実践例を共有し、授業づくりのアイデアについて学ぶ。
504 環境教育研修	○					小・中学校教職員	5月13日(火) 15:00～16:30 三条市清掃センター 環境啓発施設「かんきょう庵」	エコクラス認定制度等、三条市の環境政策についての理解を深め、環境教育の充実を図る。また、三条市清掃センターと環境啓発施設「かんきょう庵」を見学することで、行政と連携した環境教育を推進する。
505 防災教育授業研修(授業研究)	○					小・中学校教職員	10月24日(金) PM さかえ学園(栄北小)	令和7年度の重点実施学園のさかえ学園(栄北小)において、新潟県防災教育プログラム等を活用した授業公開を行うとともに、防災教育の専門講師から、教職員としての意識啓発につながる講演も聴くことで、市内全校の教職員にて、防災教育の自校化を推進する。
506 授業のユニバーサルデザイン研修				○		小・中学校教職員	5月27日(火) 14:30～16:30 教育センター	長岡市教育委員会子ども家庭センター 古田島恵津子様を講師に、授業のユニバーサルデザインの視点から、どの児童生徒にも学びやすく、分かりやすい授業づくりについて学ぶ。
507 進路研修				○		小・中学校教職員	6月12日(木) 14:30～16:30 教育センター	月ヶ岡特別支援学校教員を講師に、進路や就労支援、月ヶ岡特別支援学校の教育課程について学ぶ。
508 問題行動への対応研修				○		小・中学校教職員	7月9日(水) 14:30～16:30 教育センター	新潟大学 村中智彦教授を講師に、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の問題行動への対応について学ぶ。
509 特別な教育課程に基づく授業づくり研修				○		小・中学校教職員	9月11日(木) 14:30～16:30 教育センター	月ヶ岡特別支援学校教員を講師に、自立活動を中心に特別支援学級における具体的な指導について学び、参加者と情報交換をしながら授業づくりについて学ぶ。
(参考:教育センター研修と関連した特別支援教育研修)								
特別支援教育支援員研修会(三南特支協主催)				○		三条市特別支援サポーター・加茂・田上・見附市特別支援教育指導員等	7月23日(水) 午後 体育文化会館	県立教育センター指導主事を講師として、特別支援サポーターの行う支援について学ぶ。

3 充実発展研修

(1) マネジメント研修

	研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内 容
		教員としての 素養	学習指導	生徒指導	特別支援教育・ 育相談	ICT活用			
601	小中一貫教育校長研修	○					【悉皆・対面】各学園長 【悉皆・オンライン】 学園長以外の学校長、小中一貫 教育推進リーダー	4月18日(金) 9:00～10:00 教育センター(学園長) オンライン(学園長以外)	今年度の小中一貫教育推進の重点について、共通理解し、自学園での取組について学園ごとにその具体を考える。
602	小中一貫教育マネジメント研修	○					【悉皆】 小中一貫教育推進リーダー、推 進コーディネーター・管理職のい ずれか各校1名	5月16日(金) 15:00～16:30 教育センター	今年度の小中一貫教育推進の重点について、共通理解するとともに、各学園・学校の取組を情報交換し、 自学園・自校の取組に生かす。また、必要な事務処理事項について確認する。
701	CSディレクター等研修①	○					【悉皆】 小中一貫教育推進リーダー、 コーディネーター、管理職のい ずれか各校1名 学園・学校運営協議会委員	6月19日(木) 15:00～16:30 教育センター	今年度の市のコミュニティ・スクール推進の方向性を共有する。また、各学園・学校の今年度の取組につ いて情報交換し、自学園・学校の取組に生かす。
702	CSディレクター等研修②	○					【悉皆】 小中一貫教育推進リーダー、 コーディネーター、管理職のい ずれか各校1名 学園・学校運営協議会委員	2月20日(金) 15:00～16:30 教育センター	今年度の市のコミュニティ・スクール推進の方向性を視点に、今年度の各学園・学校の取組の成果と課題に ついて情報交換し、次年度の取組に生かす。
703	コミュニティ・スクール研修	○					【悉皆】 各学校長	7月11日(金) 14:30～16:30 教育センター	元文部科学省CSマイスター 大山賢一様を講師に、コミュニティ・スクールの更なる推進について学ぶ。ま た、各学園・学校の課題についてアドバイスをもらう。

II 教職員支援研修

	研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内 容
		教員としての 素養	学習指導	生徒指導	特別支援教育・ 育相談	ICT活用			
801	授業力向上実践研修Step1		○		○		【悉皆】教諭(採用2年目) 【希望1】教諭(採用4年目:管理 職の研修奨励) 【希望2】教諭(採用3、5、6年 目)	5月～7月 ・学習会3回(オンライン又は対 面) ・訪問参観・個別指導2回以上 (校内研究授業を兼ねることも 可)	「三条市授業スタンダード」をはじめとした授業づくりや学級づくりの基礎について学ぶ。指導案なしでの日 常の授業公開から始め、担当指導主事が1年間マンツーマンで指導・支援にあたる。日頃の悩みや相談に も丁寧に対応する寄り添い型の研修で若手教員の育成を図る。 学習会①(オンライン:5/29(木))、訪問指導①(5～7月:複数回)、学習会②(オンライン:8/22(金))、訪問 指導②(9～11月:複数回)、学習会③(オンライン:11/25(火)～12/3(水)のうち1日)
802	授業力向上実践研修Step2		○		○		【希望】 教諭採用7年目～10年目 ※管理職による研修奨励	5月～2月 ・ガイダンス1回、学習会3回 (オンライン又は対面) ・研究授業1回(自校)	自己の学習指導上の課題解決に向け、研究仮説を立てて授業実践に取り組み、指導力向上を図る。研究 の成果を「教育研究論文」としてまとめる。 ガイダンス(紙面:5月)、学習会①(オンライン:5/28(水))、学習会②(オンライン:8/20(水))、学習会③ (オンライン:11/25(火)～12/3(水)のうち1日)、教育研究論文執筆(研究授業後～2月末)
901	睡眠調査票読取勉強会	○		○			小・中学校教職員	6月6日(金)14:30～16:30 オンライン	日本眠育推進協議会理事石井正文様を講師に、講義及びグループ演習を行い、睡眠調査票の読取方法や 児童生徒等への助言方法を学ぶ。
902	第1回眠育研修会	○		○			小・中学校教職員	8月8日(金)14:00～16:30 オンライン	熊本大学名誉教授三池輝久様(小児科医)を講師に、生涯の心身健康を守る体内時計、眠育の重要性につ いて学ぶ。
903	第2回眠育研修会	○		○			小・中学校教職員	12月2日(火)14:00～16:30 オンライン	熊本大学名誉教授三池輝久様(小児科医)を講師に、睡眠調査票の読取演習を行い、個々の状況に応じた 適切な指導について学ぶ。

Ⅲ 三条ものづくり教育推進事業

	研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内 容
		教員としての 素養	学習指導	生徒指導	特別支援教育・ 育相談	I C T 活用			
1001	三条学講座① 「郷土の偉人 諸橋轍次博士」	○	○				・小・中学校教職員希望者(全講座) ・【推薦による研修】 第1回、第2回、第5回、第6回、 第7回については、各学園で1名以上の教職員を推薦(三条市勤務が初めての教職員や校務分掌に関連する教職員を優先的に推薦する)	6月4日(水) 15:00～16:30 諸橋轍次記念館	「大漢和辞典」の編者 諸橋轍次博士は、三条市の名誉市民であり、郷土の誇りである。「諸橋轍次記念館」で博士の生涯についての映像を視聴し、館内の遺品や遺墨等について、学芸員から説明を受ける。その後、隣接している博士の生家を見学し、博士の偉業や人となりについて学ぶ。
1002	三条学講座② 「和釘づくりの実習」	○	○					8月5日(火) ①9:00～10:30 ②10:30～12:00 (①か②は、受付後に通知) 三条鍛冶道場	鉄を赤く熱する・叩いて伸ばすという日常生活にはない鍛冶体験で、伊勢神宮にも使われている三条の「和釘(階折釘、巻頭釘)」をつくることを通して、ものづくりの楽しさ・奥深さを味わう。
1003	三条学講座③ 「包丁づくりの実習」	○	○					8月6日(水) 9:00～12:00 三条鍛冶道場	三条が誇る三条鍛冶道場で、指導員の手ほどきを受けながら「世界で一つの・自分だけの・実用的な刃物をつくることを通して、ものづくりの楽しさ・奥深さ、三条の刃物づくりのすばらしさを味わう。 ①か②を選択 ※材料費必要、希望者が多い場合は、受講回数の少ない方を優先し、同じ場合は抽選。 ①和式ペティナイフ(片刃) 3,000円 ②ペーパーナイフ(五寸釘) 300円
1004	三条学講座④ 「包丁研ぎの実習」	○	○					8月7日(木) ①9:00～10:30 ②10:30～12:00 (①か②は、受付後に通知) 三条鍛冶道場	切れ味の悪くなった自宅の包丁や学校の家庭科用包丁等を持ち寄って、3種類の砥石(荒・中・仕上げ)を使って切れ味のよい包丁に仕上げていく。包丁の種類や包丁の研ぎ方についての講義を受けた後、実際に包丁研ぎの実習を通して正しい包丁の研ぎ方を身に付ける。
1005	三条学講座⑤ 「三条鍛冶の歴史」	○	○					9月17日(水) 14:30～16:30 下田郷資料館	三条鍛冶道場事務局長から三条鍛冶の発祥、三条和釘の隆盛、鍛冶専門職人と三条金物商人などについての講義を受ける。その後、生涯学習課埋蔵文化財係から下田資料館2階に展示してある遺跡資料や出土品の説明を受け、石器時代からつながる三条のものづくりの歴史について学ぶ。
1006	三条学講座⑥ 「三条刃物について講義・実演」	○	○					9月24日(水) 14:30～16:30 三条鍛冶道場	鍛冶の歴史や鉄と鋼の違い、刃物づくりの工程、三条の刃物産業の現状・や手職人の育成等について、名工鍛冶職人の講義を聞く。その後、体験場で包丁づくりの工程である、地金の鉄に鋼を接合する「鍛接」等普段は見ることのできない迫力ある名人技を参観する。
1007	三条学講座⑦ 「秋の大崎山をたずねて」	○	○					10月9日(木) 14:30～16:30 大崎山(小雨決行) ※荒天時は、大崎山グリーンスポーツセンター研修室で講義	自然豊かな秋の大崎山を散策しながら、木の実や種、草花を見付け、それらを使った遊び方を教わったり、大崎山(永明寺山)の歴史(皆既日食碑)に触れたりしながら秋の自然を満喫する。(小雨決行) ※荒天時は、大崎山グリーンスポーツセンター研修室で、映像や動・植物の標本をもとに、講義を行う。
1008	和釘づくり学習	○	○				小学校・大崎学園(前期)児童、学年・学級担任	6月～12月(予定) 各校1回 三条鍛冶道場 まちやま内の鍛冶ミュージアム	①まちやま内の鍛冶ミュージアムで和釘・刃物・金物の歴史を学ぶ。(商工課・生涯学習課職員による講義) ②三条鍛冶道場で、「階折釘」等の和釘を実際につくる体験をしたりする。 ※①講義と②体験を両方行い、三条の金物等の歴史を学び、職人技を実感する。
1009	小刀学習	○	○					6月～12月(予定) 各校1～2回 各学校	三条の刃物や金物の歴史について知り、切り出し小刀の正しい使い方を学ぶ。小刀実習は、「鉛筆削り、竹とんぼづくり、竹箸づくり」から各学校で一つを選び体験する。 ※指導は、三条市シルバー人材センターによる委託事業
1010	包丁研ぎ学習	○	○				中学校・大崎学園(後期)生徒、担当者	6月～12月(予定) 各校1回～2回 各学校	包丁の種類や正しい研ぎ方を学び、中砥石を使って包丁研ぎを体験する。 ※使用した砥石は生徒へのプレゼントとなる。家庭で包丁研ぎに活用してもらう。 ※使用する包丁は、家庭の物を使用する場合は、生徒が持ち運ばないように行う。 ※指導は三条市シルバー人材センターによる委託事業
1011	木工用工具学習	○	○					5月下旬～12月(予定) 各校1回 各学校	のこぎり、かんなど木工用工具の正しい使い方を学習し、木材を切る・削る等の体験をする。三条の職人技を実感する ※指導は、三条市建築組合による委託事業

Ⅳ 科学教育推進事業

	研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内 容
		教員としての 素養	学習指導	生徒指導	特別支援教育・ 育相談	ICT活用			
1101	子どもの科学教室 「生物教室」	○	○				児童30名 活動支援者5名	5月31日(土) 大崎山公園	～大崎山の生きものをさぐる～ 事象に直接触れる活動を通して自然認識と科学的な見方・考え方を育てる。 活動支援を通して適切な支援方法と教材の特性を研修する。
1102	子どもの科学教室 「物理教室」	○	○				児童30名 活動支援者5名	7月5日(土) 科学教育センター	～音のひみつをさぐる～ 事象に直接触れる活動を通して自然認識と科学的な見方・考え方を育てる。 活動支援を通して適切な支援方法と教材の特性を研修する。
1103	子どもの科学教室 「地学教室」	○	○				児童30名 活動支援者5名	10月4日(土) 寺泊・出雲崎方面	～寺泊と出雲崎の大地をさぐる～ 事象に直接触れる活動を通して自然認識と科学的な見方・考え方を育てる。 活動支援を通して適切な支援方法と教材の特性を研修する。
1104	子どもの科学教室 「星空教室」	○	○				児童30名 活動支援者5名	10月30日(木) しらさぎ荘 ※予備日31日(金)	～秋の星空をさぐる～ 事象に直接触れる活動を通して自然認識と科学的な見方・考え方を育てる。 活動支援を通して適切な支援方法と教材の特性を研修する。
1105	子どもの科学教室 「化学教室」	○	○				児童30名 活動支援者5名	11月8日(土) 科学教育センター	～溶ける現象をさぐる～ 事象に直接触れる活動を通して自然認識と科学的な見方・考え方を育てる。 活動支援を通して適切な支援方法と教材の特性を研修する。
1106	第1回 科学・模型工作教室	○	○				児童40名 活動支援者5名	6月14日(土) 科学教育センター	科学・模型工作の活動を通して、科学的なものの見方と考え方で製作活動に取り組む態度を育てる。 もの作りを通して、発想豊かに、自分らしさを表現する感性を育てる。 活動支援を通して適切な支援方法と教材の特性を研修する。
1107	第2回 科学・模型工作教室	○	○				児童40名 活動支援者5名	7月19日(土) 科学教育センター	
1108	第3回 科学・模型工作教室	○	○				児童40名 活動支援者5名	8月30日(土) 科学教育センター	
1109	第4回 科学・模型工作教室	○	○				児童40名 活動支援者5名	9月20日(土) 科学教育センター	
1110	第5回 科学・模型工作教室	○	○				児童40名 活動支援者5名	11月22日(土) 科学教育センター	
1111	第6回 科学・模型工作教室	○	○				児童40名 活動支援者5名	12月13日(土) 科学教育センター	
1112	第20回 わくわく科学フェスティバル	○	○				児童・生徒・一般600名 指導者・活動支援者100名	8月7日(木) 三条市体育文化会館	自然の不思議に直接ふれ、科学実験や工作等を通して身近な自然事象や科学技術に興味・関心を向けて、 好奇心や探究心を高める体験を、広く児童生徒に提供する。 指導や支援を通して適切な支援方法と教材の特性を研修する。
1113	第20回 科学ゼミナール	○	○				本成寺中学校生徒 下田中学校生徒 大崎学園生徒	10月9日(木) 本成寺中学校 10月10日(金) 下田中学校、大崎学園	先進的な科学技術に関する講演会を通して、広く科学的な素養を身に付ける。また、専門家の生き方にも触れ、自分の将来や生き方について考える一助とする。 科学に関する研究開発で社会に貢献する人の生き方や考え方にふれ、科学教育・キャリア教育について研修する。